令和８年　第３回定例会　総括質疑



【紫翠会】
佐藤　愛子　委員

■移住・定住促進事業について

質疑　移住コーディネーターの人数は相談件数に見合っているのか伺う。

答弁　相談件数が増加傾向にあることに加え、市民満足度調査で移住・定住施策に対し大変厳しい評価がある。今後の事業展開によっては増員も選択肢の一つとして考えていく。

質疑　若者世帯に対する住宅取得支援制度の支援の在り方が非常に重要で利用者の意見を適切に取り入れていただきたいが、御意見を伺う。

答弁　昨年導入した事業でＰＲ不足も含め周知したい。また、今後の動向をしっかりと踏まえ喜ばれる制度にしていきたい。

■結婚サポート事業について

質疑　前年度と比較し、どのような効果や成果があったと分析しているか伺う。

答弁　各種支援制度への申請件数は減少しているが、若者世代へのライフプランセミナーを開催しており、前向きに将来を描き安心して一歩踏み出せる環境づくりの推進が図られた。

質疑　婚活・結婚によって市に住んでもらうことまで見据えていただきたいが考えを伺う。

答弁　婚活では、価値観への配慮も必要だが、市で結婚・子育てをしてよかったと思ってもらえるよう実際にどのように行動できるか一緒になり考え実行していければと考える。



【紫翠会】
藤田　健志　委員

■地域自治組織支援事業について

質疑　地区センター整備について、どのように考えているのかを伺う。

答弁　地区センターは、地域づくりの拠点として様々活動をして頂いている。活用可能な施設は、活用し、場合により解体し新築する選択をしながら、整備を進める。駒形町、稲庭町、弁天、山田など、計画的に、整備を進めていきたい。

■地域おこし協力隊事業について

質疑　募集時に、業務内容をピンポイントに絞って募集することについて考えを伺う。

答弁　今までも絞ってきたが、マッチングに時間を要する事例があり、昨年度は年間1人を追加し配置する目標が達成できない状況であった。今後、ピンポイントや仕組みそのものを再検証する等、見直しが必要だと考える。

質疑　隊員の効果的な活用について考えを伺う。

答弁　協力隊の方々は、我々にはないスキルを持ち、外から湯沢市を見る目を持って事業を協力して展開できる点では、ありがたいが、任期終了後の募集等のあり方などを含め協議し取組みたい。





【政和会】
寺田　純二　委員

■地域自治組織支援事業について

質疑　湯沢地区7地区の組織に対する事務負担分として、それぞれ10万円が交付されているが、事務に携わる者の負担や、近年の物価高騰による経費の増加なども考慮し、今後、交付額の増額を検討する考えはあるのか伺う。

答弁　湯沢地区事務加算分は地区センターが未設置の地区組織を運営するため、地域の人材等によって自主的な組織運営を担っていただくための財政的支援として位置づけている。事務加算分は、地区組織における運営基盤の維持に不可欠な経費であると認識している。

今後の対応において、各地区組織が直面している事務負担の実態や運営状況をしっかりと把握、注視した上で、交付金の在り方にとどまらず、事務効率化に向けた伴走支援など、どのような手法が最も効果的な支援であるか、関係者と十分に協議を重ねて検討していく。